

一色城(名古屋市名東区一社3)(神蔵寺と貴船神社)

略 歴

城主は柴田勝家の祖父にあたるといわれる、柴田源六勝重である。

尾張守護斯波氏は駿河の太守今川氏の侵攻に備えて、この地を地盤とする柴田氏に一色城築城を命じ、勝重はこの地を選地して築城した。

現 況

神蔵寺のある台地が城址と思われる。

現在貴船神社の建つ辺りが高くなっており、この部分に主郭があり、神蔵寺を二郭とした構造であったと考えるのが妥当であろう。

現在台地端は削られているが、かつてはこちらを背にして、東に向かった城構えであった事は容易に想像できる。

なお、神蔵寺についても柴田勝重創建で、境内に勝重の墓もある。

帝国博物学協会による

